



森林セラピー 通信 森のたより

昔の人の暮らしを語る植物

夏から秋に旬をむかえる茗荷。森林セラピーロードにはあちらこちらに生えています。奥小田地域は、明治初期までたたら製鉄が盛んで多くの民家があり、その頃食用のために植えられたミョウガが野生化して増えたそうです。



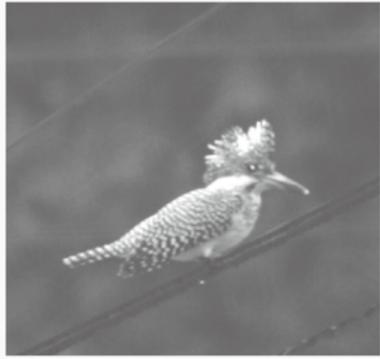
「茗荷が豊作の年は香茸も豊作」と言われる

ミョウガの魅力は、さわやかな香りと食感ですが、香りの正体は「α-ピネン」という成分です。この成分は、森林セラピー効果を高めるといわれていて、スト

レスの緩和や血液循環・免疫機能の改善などの効果が期待できます。少し肌寒いこの季節。昔の暮らしの営みを想像しながら森林セラピーロードを歩いてみてはいかがでしょうか。

博学講座

飯南町のセラピーロード周辺を流れる小田川とその支流には「ヤマセミ」が住んでいます。ハトくらいの大きさで、体は白黒のまだら模様ですが、飛んでいる時は白く見えます。「溪流の貴公子」と呼ばれるほど姿が美しく、頭には長く立派な羽毛を持っています。イワナやヤマメが好物で木や岩の上で狙いを定め、一気に潜って捕獲するところから「溪の狩人」とも呼ばれます。



めったに出会えないヤマセミは撮影するのも一苦労

もし見れたらその日「日幸せな気分になれる鳥「ヤマセミ」に、セラピーロードだったら出会えるかも。」

ま ちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。

今月は、大しめなわ創作館の林正知隊員の活動報告です。

協力隊2年目の林です。昨年は出雲大社神楽殿の大しめ縄の架け替えも無事に終わり、多くの皆さまにご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございます。 昨年の架け替え以降、私は「中芯」と言う大しめ縄の重要なパーツの制作に携わっており、約40社の大しめ縄の中芯を制作してきました！今年10月には大しめなわ創作館開館5周年を迎えます。「大しめ縄の里飯南町」を盛り上げるために、より一層しめ縄技術の習得に励んで行きたいと思えます。



大しめ縄作成風景 Photo by 道の駅とんぼら

またプライベートでは地域の活動イベントへの参加や、特技のピアノ演奏を活かして町内・町外で音楽活動を続けています。音楽活動はソロでの演奏はもちろん、町内のミュージシャン達とイベント・お祭りでのライブや、サロンなどで歌声喫茶を行っています。 今後も音楽を通じて皆さまと笑顔あふれる交流ができることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。



ライブもやります



スノーキャンドル楽しかったです

俳句

琴峯俳句会 八月例会作品抄

身籠もりし娘とをりぬ終戦日 安部 豊枝
暑に耐へるだけの暮しでありしかな 石田シヅカ
一声を掛けて笑顔の草取女 垣内 良野
帰路急かす盆の月今みかんいろ 佐々木康子
さりもなき昔話や盆の客 田部智津子
残暑とも思へぬ今日の暑さかな 森 征子

短歌

赤名短歌会 八月例会詠草

丁寧なる残暑御見舞のはがき文字ひとり暮らしのおぼつかなきに 岩佐 恒子
ゆあちゃんですしい子に成つての初盆です第の私を生んでね母さん 澤田 勝登
早朝を草を刈りくるる人のありジンジャーを冷やして待たん 澤田久美子
涼風や窓越しに吹く午すぎの外に爆音ジェットは東へ 清原 豊明
朝露に生れしばかりのかたつむり瑞みつと背負ふ殻の愛しく 石田フクエ
山脈を刻むとくくの夕闇にふと足を止め夏を見上げる 鳥田 勝信
おもむろにひらきたる眼に手術後の梅雨晴れの光が鮮やかに過ぐ 本間 麗子
この夏も定番おかずの茄子きゅうり帰省の子等に箸のすすみて 星野 敦子
月光を花にやどして月見草のむれ咲く丘に秋はしのびよる 吉川 咲子
麦茶香る暑さに負けじと夏休みひたすら作るババの長き日 門所 詠子

すこやか

8月届出分

新生児 届出人 地区
伊藤 萌々香 智 宏(頓原)
吉村 奏人 直 彬(頓原)
お名前 親族 地区
安部 惇 健 (野萱)
長島 凱規 伸 江(佐見)
戸澤 フジコ 美優喜(下赤名)
八谷 一郎 博(上区)
板垣 春恵 奥村弘子(野萱)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

その涙 ぼくの笑顔と 半ぶんこ

陽斗さん 日向多さん 志保さん 弘さん
来島小6年 田部 弘さん
家族名 田部 弘さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

俳句作品の世界観を広げる絵を「俳画」と言います。琴峯俳句会の垣内良野さんの作品を写真で表現してみました。

猛暑の中、日をかえ3度も撮影。撮影の間には俳句の話はもちろん、前会長で旦那さんの垣内峯雅(実名「広」さん)の思い出をたくさんお話しいただきました。

